

# キヤノンマーケティングジャパングループ 2019年度第3四半期 決算説明

2019年10月28日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

取締役専務執行役員 松阪 喜幸

**Canon**

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

- 
- 本資料では、億円単位未満の端数は四捨五入により表示しております。
  - 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

**売上高**            **1,602億円**    (**前年比+128億円 / +9%**)

- ✓ コンシューマセグメントがデジタル一眼レフカメラ等の減少により減収となったものの、エンタープライズ・エリア・プロフェッショナルの各セグメントで増収となり、売上は増加。

**営業利益**            **105億円**    (**前年比+42億円 / +68%**)

- ✓ 全てのセグメントで増益となり、大幅増益。

**親会社株主に帰属する  
四半期純利益**            **71億円**    (**前年比+30億円 / +72%**)

# 業績サマリー 第3四半期(7~9月)実績

## ■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年 3Q	2019年 3Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	1,474	1,602	+128	+9%
売上総利益	(35.3%) 520	(32.6%) 523	(△2.7%) +2	+0%
営業利益	(4.2%) 62	(6.5%) 105	(+2.3%) +42	+68%
経常利益	(4.3%) 63	(6.6%) 106	(+2.3%) +43	+67%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(2.8%) 41	(4.4%) 71	(+1.6%) +30	+72%

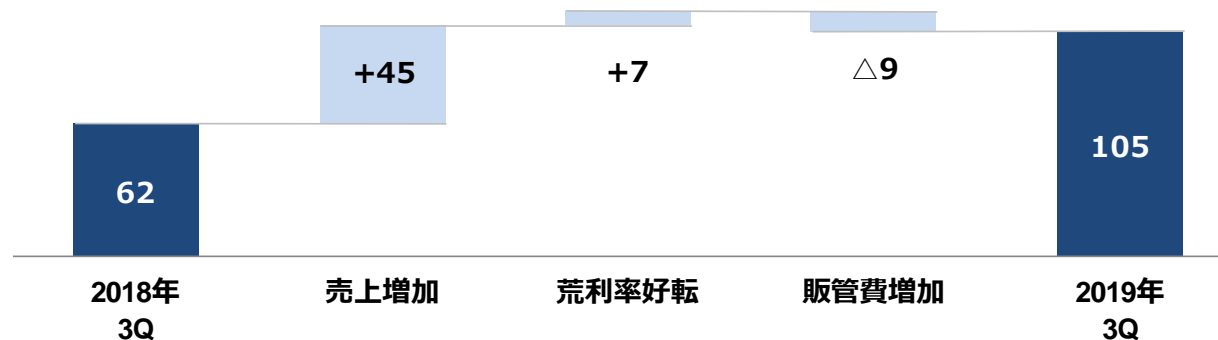
# 業績サマリー 第3四半期(7~9月)実績 組替前実績比較

## ■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年 3Q	2019年 3Q	サービス 組替影響	2019年 3Q (組替前)	組替前比較	
					金額	率
売上高	1,474	1,602	-	1,602	+128	+9%
売上総利益	(35.3%) 520	(32.6%) 523	49	(35.7%) 572	(+0.4%) +52	+10%
営業利益	(4.2%) 62	(6.5%) 105	-	(6.5%) 105	(+2.3%) +42	+68%
経常利益	(4.3%) 63	(6.6%) 106	-	(6.6%) 106	(+2.3%) +43	+67%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(2.8%) 41	(4.4%) 71	-	(4.4%) 71	(+1.6%) +30	+72%

## ■ 営業利益分析



# セグメント概要 第3四半期(7~9月)実績

(単位：億円)

	2018年 3Q		2019年 3Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	353	15	342	28	△11	+14
エンタープライズ	459	17	509	28	+50	+10
エリア	618	30	694	47	+76	+17
プロフェッショナル	96	0	107	4	+10	+4
その他	△52	0	△49	△2	+3	△3
合 計	1,474	62	1,602	105	+128	+42

※1.「その他」には、報告セグメントに含まれないコールセンター及びBPOサービス事業やセグメント間取引消去が含まれております。

※2.2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更になっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

# 業績サマリー 第3四半期(1~9月)実績

## ■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年 1Q-3Q	2019年 1Q-3Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	4,479	4,630	+151	+3%
売上総利益	(35.1%) 1,570	(32.2%) 1,491	(Δ2.9%) Δ80	Δ5%
営業利益	(3.5%) 159	(5.2%) 239	(+1.6%) +80	+50%
経常利益	(3.9%) 173	(5.4%) 249	(+1.5%) +76	+44%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(2.6%) 116	(3.6%) 165	(+1.0%) +50	+43%

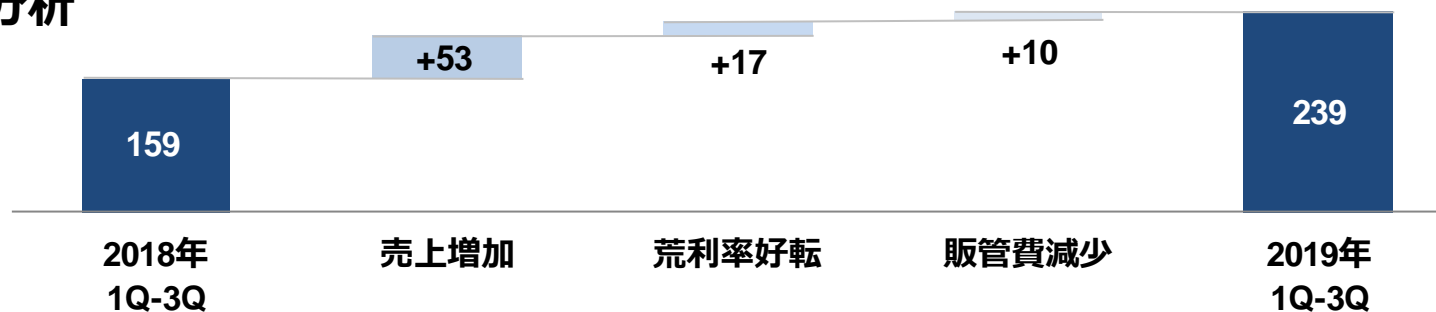
# 業績サマリー 第3四半期(1~9月)実績 組替前実績比較

## ■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年 1Q-3Q	2019年 1Q-3Q	サービス 組替影響	2019年 1Q-3Q (組替前)	組替前比較	
					金額	率
売上高	4,479	4,630	-	4,630	+151	+3%
売上総利益	(35.1%) 1,570	(32.2%) 1,491	149	(35.4%) 1,640	(+0.4%) +70	+4%
営業利益	(3.5%) 159	(5.2%) 239	-	(5.2%) 239	(+1.6%) +80	+50%
経常利益	(3.9%) 173	(5.4%) 249	-	(5.4%) 249	(+1.5%) +76	+44%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(2.6%) 116	(3.6%) 165	-	(3.6%) 165	(+1.0%) +50	+43%

## ■ 営業利益分析



# セグメント概要 第3四半期(1~9月)実績

(単位：億円)

	2018年 1Q-3Q		2019年 1Q-3Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	963	4	918	26	△45	+22
エンタープライズ	1,393	60	1,496	83	+103	+22
エリア	1,920	85	2,022	117	+102	+32
プロフェッショナル	358	8	339	17	△19	+9
その他	△155	2	△144	△3	+10	△5
合 計	4,479	159	4,630	239	+151	+80

※1.「その他」には、報告セグメントに含まれないコールセンター及びBPOサービス事業やセグメント間取引消去が含まれております。

※2.2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更になっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。



**売上高 342億円（前年比  $\Delta$ 11億円 /  $\Delta$ 3%）**

➢ インクジェットプリンター関連の売上が増加するも、デジタル一眼レフカメラが減少し、減収。

**営業利益 28億円（前年比 +14億円 / +91%）**

➢ インクカートリッジが好調だったことや、レンズ交換式デジタルカメラの新製品効果に加え、販管費の削減が寄与し、増益。

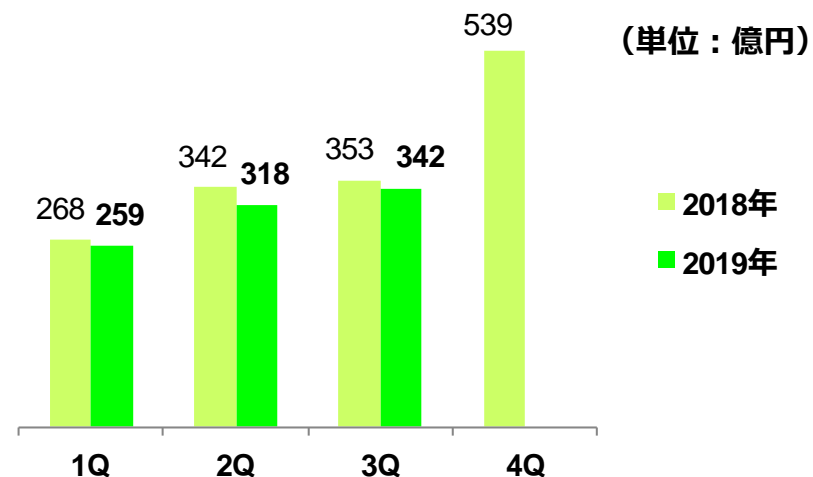
■ 対前年増減

	2018年 1Q-3Q	2019年 1Q-3Q	増減
売上高	963	918	$\Delta$ 45
営業利益	4	26	+22

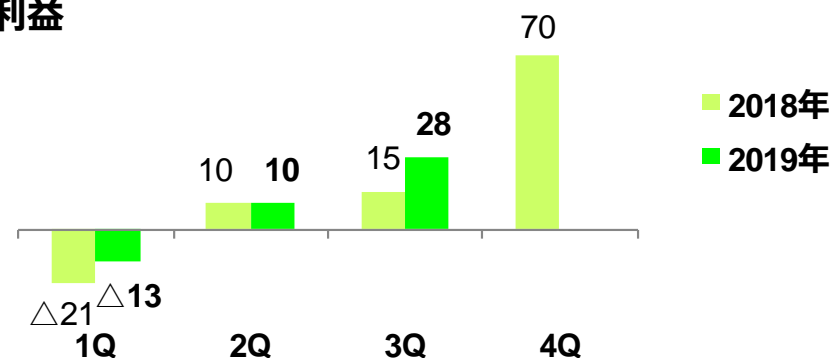
■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	$\Delta$ 3%	$\Delta$ 7%	$\Delta$ 3%		

■ 売上高



■ 営業利益



**売上高 509億円 (前年比 +50億円 / +11%)**

➢ レーザープリンターの大型案件や、ITインフラサービス、エンジニアリング等のITソリューションが順調に推移し、増収。

**営業利益 28億円 (前年比 +10億円 / +61%)**

➢ 売上の増加による荒利の増加により、増益。

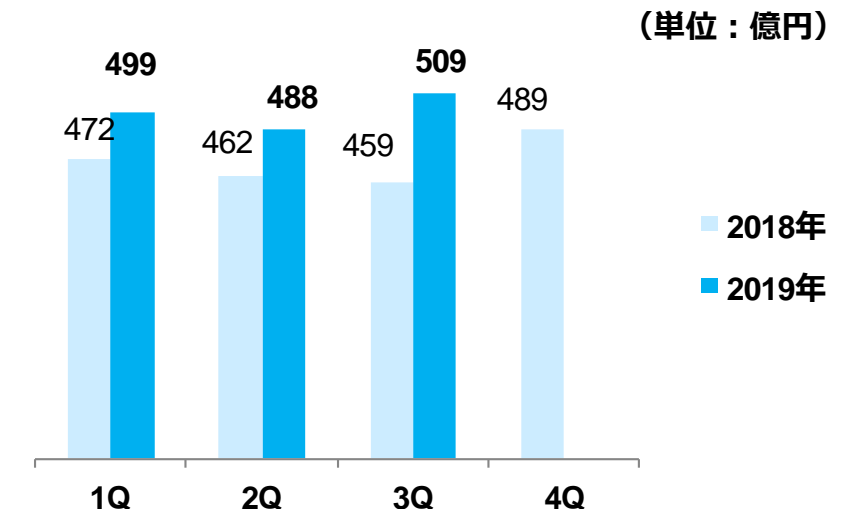
■ 対前年増減

	2018年 1Q-3Q	2019年 1Q-3Q	増減
売上高	1,393	1,496	+103
営業利益	60	83	+22

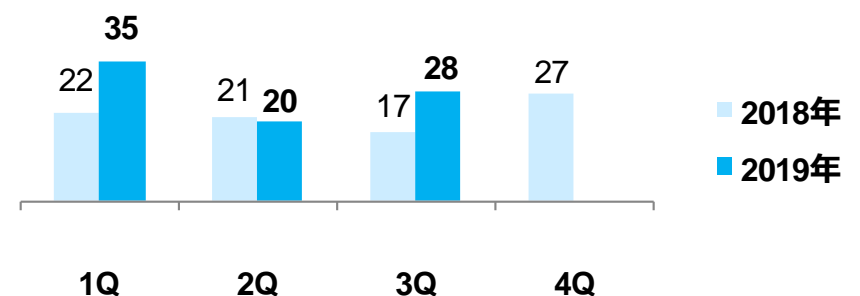
■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	+6%	+6%	+11%		

■ 売上高



■ 営業利益



## 売上高 694億円（前年比 +76億円／+12%）

➤ 主要ビジネス機器が堅調に推移したことに加え、ビジネスPCを中心としたITソリューションが増加し、増収。

## 営業利益 47億円（前年比 +17億円／+57%）

➤ 売上の増加による荒利の増加により、増益。

### ■ 対前年増減

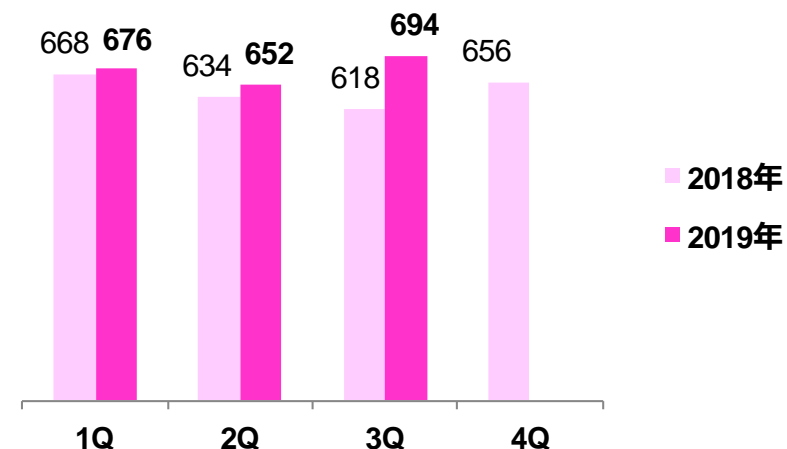
	2018年 1Q-3Q	2019年 1Q-3Q	増減
売上高	1,920	2,022	+102
営業利益	85	117	+32

### ■ 売上高 対前年同期増減

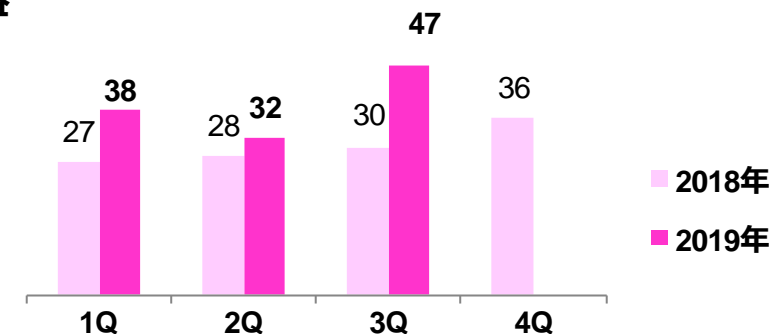
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	+1%	+3%	+12%		

（単位：億円）

### ■ 売上高



### ■ 営業利益



**売上高 107億円（前年比 +10億円／+11%）**

➤ 産業機器が低調だったものの、ヘルスケアが順調に推移し、増収。

**営業利益 4億円（前年比 +4億円／-%）**

➤ 販管費の削減や、利益率の高い製品が好調だったこと等により、増益。

（単位：億円）

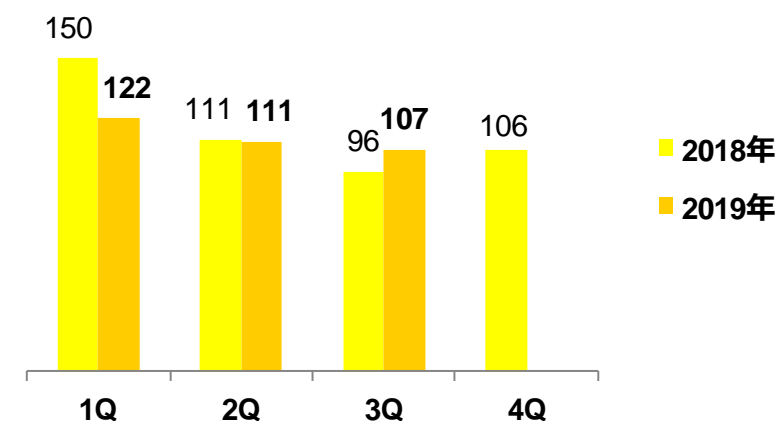
■ 対前年増減

	2018年 1Q-3Q	2019年 1Q-3Q	増減
売上高	358	339	△19
営業利益	8	17	+9

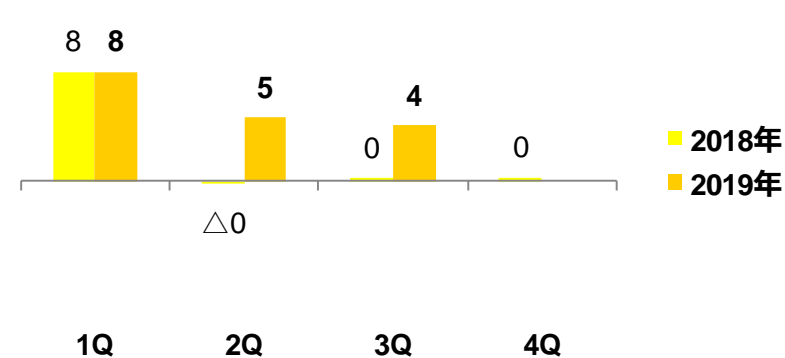
■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	△19%	△1%	+11%		

■ 売上高



■ 営業利益



## ■ 売上高対前年増減

	2019年		
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績
プロダクションプリンティング	+1%	△22%	△4%
産業機器	△34%	△2%	△6%
ヘルスケア	△13%	+19%	+37%

### ■ プロダクションプリンティング

POP制作のシステム案件が好調だったものの、カラー連帳プリンター・ワイドフォーマットプリンター等が低調に推移したことにより、減収。

### ■ 産業機器

半導体分野が好調に推移したものの、非半導体分野においてコンポーネント等が減少し、減収。

### ■ ヘルスケア

病院向けの医療ITが大きく伸長。デジタルラジオグラフィの増加に加え、消耗品の消費税増税前の駆け込み需要等もあり、大きく増収。

# グループITソリューション売上

(単位：億円)

	2018年 3Q	2019年 3Q	増減	
			金額	率
エンタープライズ	282	317	+36	+13%
エリア	140	202	+63	+45%
その他	54	59	+6	+10%
合計	475	579	+104	+22%

	2018年 1Q-3Q	2019年 1Q-3Q	増減	
			金額	率
エンタープライズ	862	962	+100	+12%
エリア	437	558	+121	+28%
その他	155	170	+15	+10%
合計	1,454	1,691	+237	+16%

【参考】グループITセキュリティ売上高

	対前年 増減率	
	3Q	1Q-3Q
グループITセキュリティ	+9%	+4%

# 業績予想サマリー

(単位：億円)

	2019年 年間 (前回予想)	2019年 年間 (予想)	増減		2018年 年間 (実績)	前年比較	
			金額	率		金額	率
売上高	6,220	6,230	+10	+0%	6,216	+14	+0%
	(4.8%)	(5.0%)	(+0.2%)		(4.7%)	(+0.3%)	
営業利益	300	310	+10	+3%	289	+21	+7%
	(5.0%)	(5.2%)	(+0.2%)		(4.9%)	(+0.3%)	
経常利益	312	322	+10	+3%	305	+17	+6%
	(5.0%)	(5.2%)	(+0.2%)		(4.9%)	(+0.3%)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	210	215	+5	+2%	208	+7	+3%
	(3.4%)	(3.5%)	(+0.1%)		(3.4%)	(+0.1%)	

# 業績予想 セグメント概要 前回予想比較

(単位：億円)

	2019年 年間 (前回予想)		2019年 年間 (予想)		前回予想比較		
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上 金額	率	営業 利益
コンシューマ	1,388	69	1,337	69	△51	△4%	-
エンタープライズ	1,910	99	1,962	99	+52	+3%	-
エリア	2,619	126	2,674	136	+55	+2%	+10
プロフェッショナル	487	12	451	12	△36	△7%	-
その他	△184	△6	△194	△6	△10	-	-
合計	6,220	300	6,230	310	+10	+0%	+10

※1. 「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2. 2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更となっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。



# 業績予想 セグメント概要 前年比較

(単位：億円)

	2018年 年間 (実績)		2019年 年間 (予想)		前年比較		
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上 金額	率	営業 利益
コンシューマ	1,502	73	1,337	69	△165	△11%	△4
エンタープライズ	1,882	87	1,962	99	+80	+4%	+12
エリア	2,576	121	2,674	136	+98	+4%	+15
プロフェッショナル	464	9	451	12	△13	△3%	+3
その他	△208	△1	△194	△6	+14	-	△5
合計	6,216	289	6,230	310	+14	+0%	+21

※1. 「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2. 2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更となっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

# 業績予想 セグメント情報

(単位：億円)

	2018年 1Q-3Q (実績)		2018年 4Q (実績)		2019年 1Q-3Q (実績)		2019年 4Q (計画)		増減 1Q-3Q		増減 4Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	963	4	539	70	918	26	419	43	△45	+22	△120	△26
エンタープライズ	1,393	60	489	27	1,496	83	466	16	+103	+22	△23	△11
エリア	1,920	85	656	36	2,022	117	652	19	+102	+32	△4	△16
プロフェッショナル	358	8	106	0	339	17	112	△5	△19	+9	+6	△5
その他	△155	2	△53	△2	△144	△3	△50	△3	+10	△5	+4	△1
合 計	4,479	159	1,737	130	4,630	239	1,600	71	+151	+80	△137	△59

※1. 「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2. 2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更となっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

# 參考資料

# 【参考】2018年セグメント移管組替後実績

	2018年							
	1Q		2Q		3Q		4Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	268	△21	342	10	353	15	539	70
エンタープライズ	472	22	462	21	459	17	489	27
エリア	668	27	634	28	618	30	656	36
プロフェッショナル	150	8	111	△0	96	0	106	0
その他	△50	2	△53	0	△52	0	△53	△2
合 計	1,508	37	1,497	59	1,474	62	1,737	130

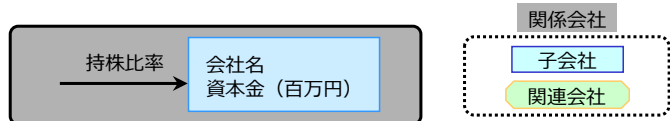
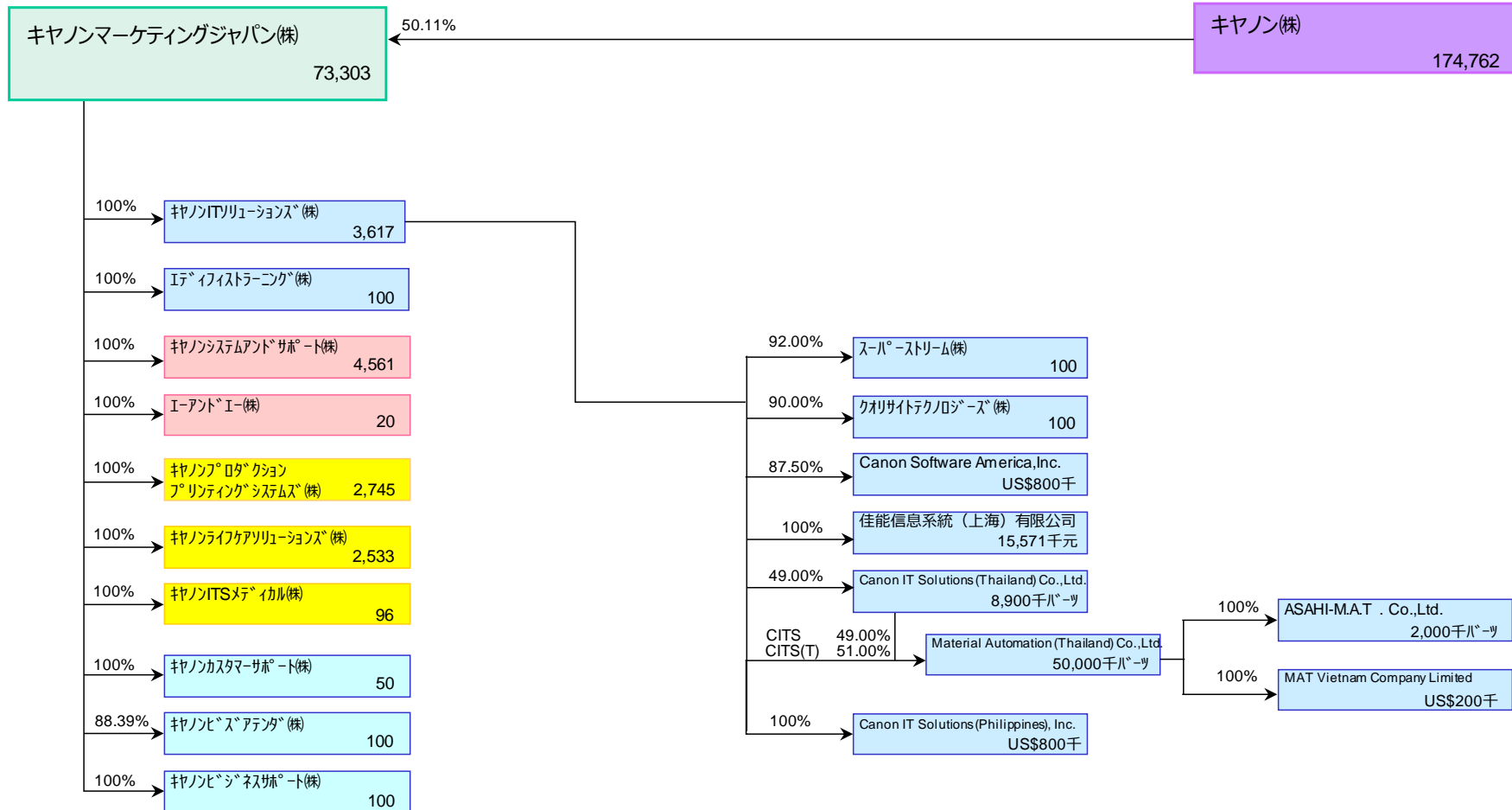
(単位：億円)

※1. 「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2. 2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更となっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

# 【参考】関係会社出資関係図



# 【参考】主要関係会社実績 第3四半期(7~9月)実績

(単位：億円)

		2018年 3Q		2019年 3Q		増減		
						金額	率	
<b>エンタープライズ</b>								
キヤノンITソリューションズ	売上高	221.6		236.2		+14.6		+7%
	営業利益	15.1	(6.8%)	15.0	(6.3%)	△0.2	(△0.5%)	
<b>エリア</b>								
キヤノンシステムアンドサポート	売上高	286.2		331.2		+45.0		+16%
	営業利益	9.4	(3.3%)	16.3	(4.9%)	+6.8	(+1.6%)	
<b>プロフェッショナル</b>								
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ	売上高	28.2		26.9		△1.3		△5%
	営業利益	△0.9	(-)	0.9	(3.4%)	+1.8	(-)	
キヤノンライフケアソリューションズ	売上高	24.4		29.8		+5.4		+22%
	営業利益	△0.6	(-)	1.3	(4.3%)	+1.8	(-)	

※ 主要関係会社の前年実績につきましては、セグメント区分の変更に伴い、各社の前年実績も組替え後の数値となっております。

# 【参考】主要関係会社実績 第3四半期(1~9月)実績

(単位：億円)

		2018年 1Q-3Q		2019年 1Q-3Q		増減		
						金額	率	
<b>エンタープライズ</b>								
キヤノンITソリューションズ	売上高	641.7		699.6		+57.9		+9%
	営業利益	50.0	(7.8%)	64.9	(9.3%)	+14.9	(+1.5%)	
<b>エリア</b>								
キヤノンシステムアンドサポート	売上高	885.1		951.2		+66.2		+7%
	営業利益	26.6	(3.0%)	40.7	(4.3%)	+14.1	(+1.3%)	
<b>プロフェッショナル</b>								
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ	売上高	89.7		80.6		△9.1		△10%
	営業利益	△3.5	(-)	1.9	(2.3%)	+5.4	(-)	
キヤノンライフケアソリューションズ	売上高	85.8		87.8		+2.0		+2%
	営業利益	1.2	(1.4%)	2.7	(3.1%)	+1.5	(+1.7%)	

※ 主要関係会社の前年実績につきましては、セグメント区分の変更に伴い、各社の前年実績も組替え後の数値となっております。

# 【参考】販管費の内訳

第3四半期(7~9月)実績



(単位：億円)

	2018年	2019年	サービス 組替影響	2019年 (組替前)	組替前増減
	3Q	3Q	3Q	3Q	3Q
広告宣伝費	20	18	-	18	△3
販売促進費	9	8	-	8	△1
保証費	12	9	1	10	△2
その他直接費	47	47	-	47	+0
人件費	296	264	46	310	+14
減価償却費	3	2	-	2	△1
その他販売費	70	70	2	72	+2
<b>合計</b>	<b>458</b>	<b>418</b>	<b>49</b>	<b>467</b>	<b>+9</b>



# 【参考】販管費の内訳 第3四半期(1~9月)実績

(単位：億円)

	2018年	2019年	サービス 組替影響	2019年 (組替前)	組替前増減
	1Q-3Q	1Q-3Q		1Q-3Q	
広告宣伝費	58	54	-	54	△4
販売促進費	32	25	-	25	△6
保証費	36	29	2	30	△5
その他直接費	144	140	-	140	△4
人件費	915	792	140	933	+17
減価償却費	10	7	-	7	△3
その他販売費	217	206	7	212	△5
<b>合計</b>	<b>1,411</b>	<b>1,252</b>	<b>149</b>	<b>1,401</b>	<b>△10</b>

# 【参考】営業外収支・特別損益の内訳

(単位：億円)

## ■ 営業外収益

	2018年		2019年		増減	
	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q
受取利息	0	2	1	1	+0	△0
受取配当金	0	1	0	1	+0	△0
受取保険金	0	5	0	5	△0	△1
投資事業組合運用益	△0	5	0	2	+0	△3
その他	1	3	0	2	△0	△1
合計	1	16	1	12	+0	△4

## ■ 営業外費用

	2018年		2019年		増減	
	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q
支払利息	0	0	0	0	+0	+0
その他	0	2	0	1	△0	△0
合計	0	2	0	1	△0	△0

# 【参考】営業外収支・特別損益の内訳

(単位：億円)

## ■ 特別利益

	2018年		2019年		増減	
	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q
固定資産売却益	0	1	0	0	△0	△1
投資有価証券売却益	1	5	0	0	△1	△5
関係会社株式売却益	-	2	-	-	-	△2
合計	1	8	0	0	△1	△8

## ■ 特別損失

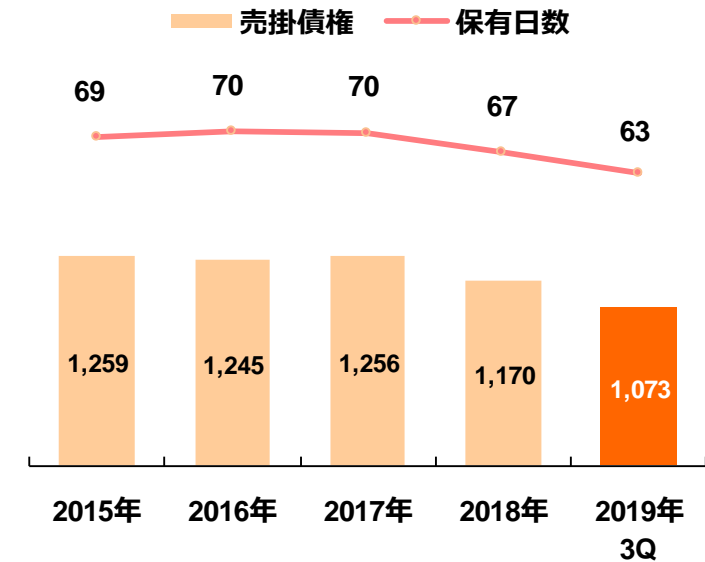
	2018年		2019年		増減	
	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q	3Q	1Q-3Q
固定資産除売却損	2	3	0	2	△1	△1
減損損失	-	0	1	1	+1	+1
投資有価証券評価損	0	1	0	0	△0	△1
拠点再編費用	0	1	-	-	△0	△1
その他	0	1	0	0	△0	△1
合計	2	5	1	3	△1	△2

# 【参考】貸借対照表

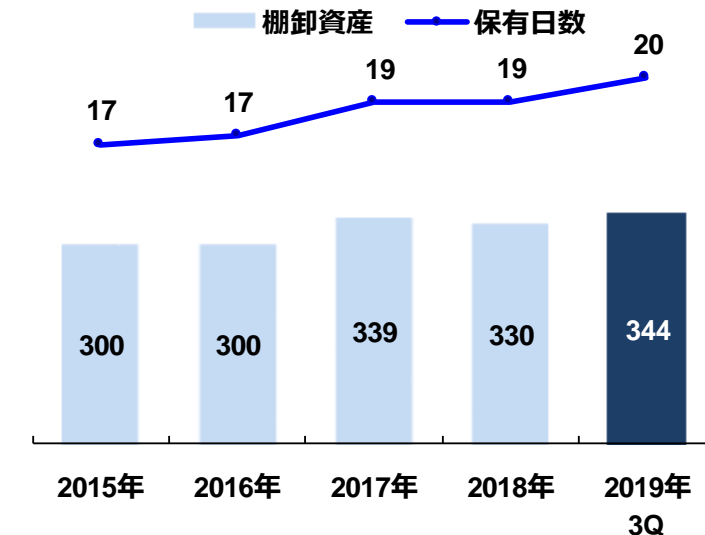
	2018年 12月	2019年 9月	増減
資産	4,988	4,917	△71
流動資産	3,833	3,690	△144
金融資産	1,356	603	△753
売掛債権	1,170	1,073	△98
棚卸資産	330	344	+14
その他	977	1,670	+693
固定資産	1,154	1,228	+73
有形固定資産	720	791	+71
無形固定資産	53	48	△4
投資その他	382	388	+6
負債	1,952	1,773	△180
流動負債	1,299	1,137	△162
買掛債務	758	509	△250
その他	541	628	+88
固定負債	653	636	△17
純資産	3,036	3,145	+109
株主資本	3,142	3,212	+71
(自己株式)	△319	△319	△0
その他の包括利益累計額	△111	△74	+37
非支配株主持分	5	6	+1
株主資本比率	61%	64%	+3%

## ■ 売掛債権

(単位：億円)

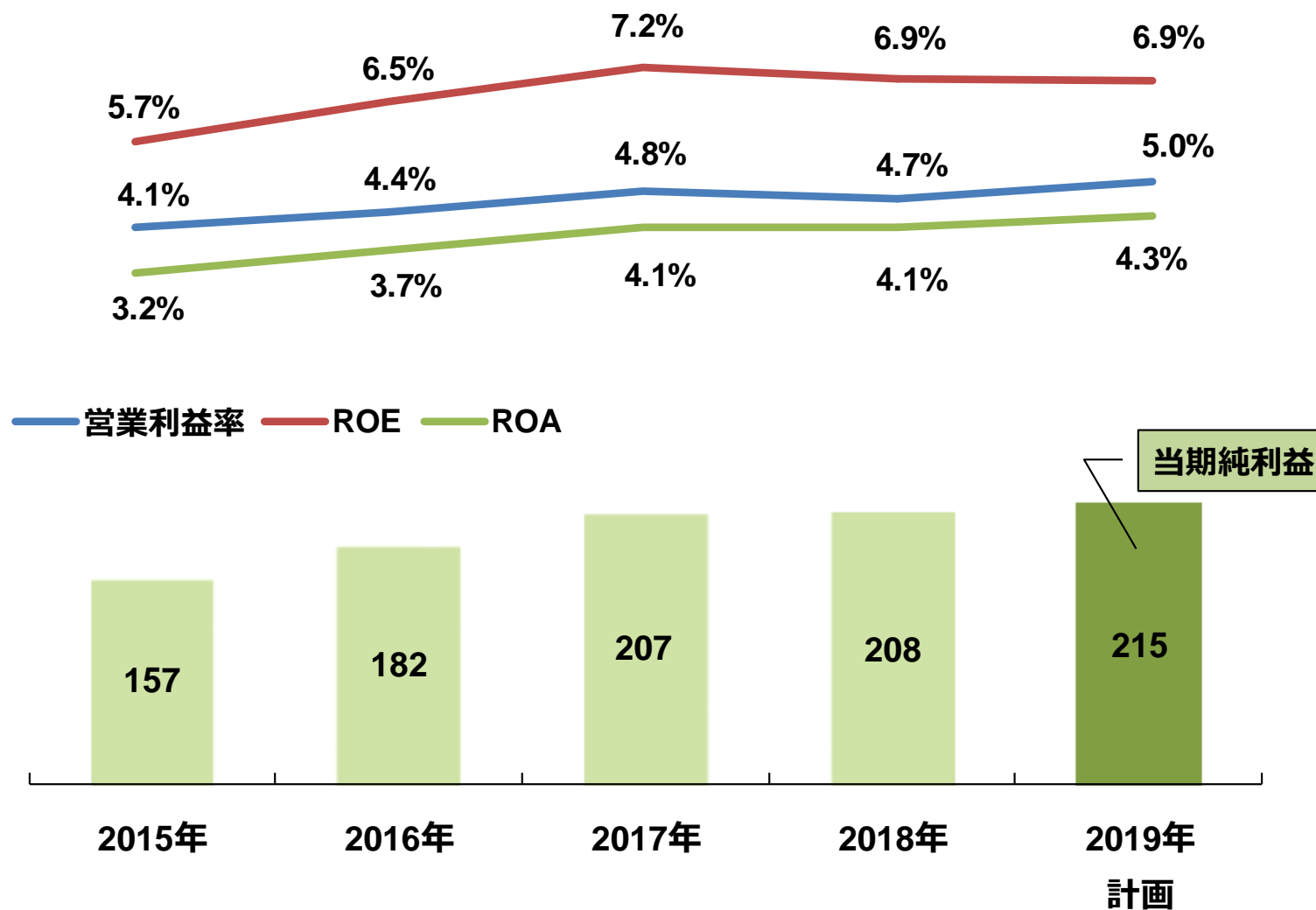


## ■ 棚卸資産



(単位：億円)

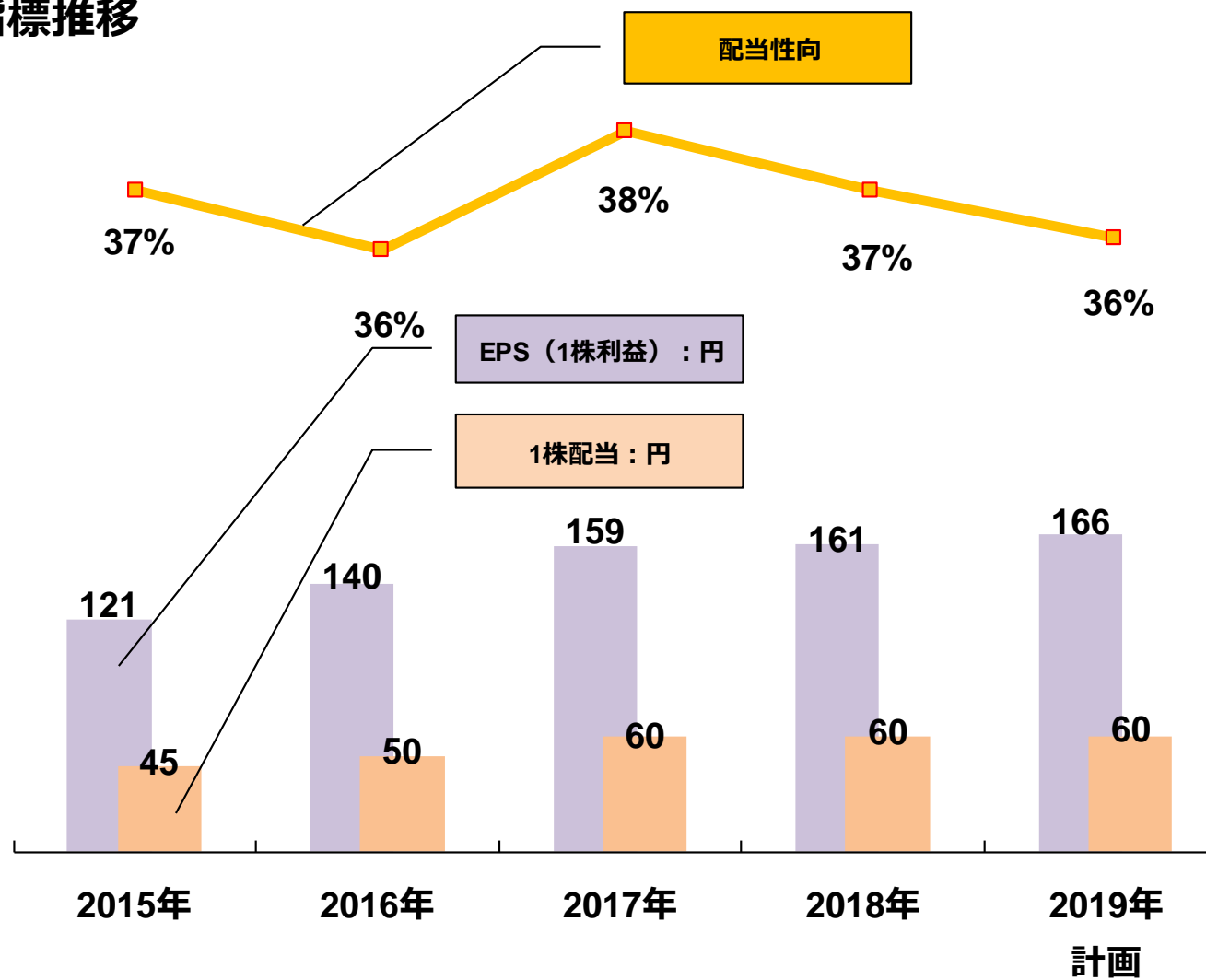
## ■ 財務指標推移



# 【参考】財務指標推移 配当性向／EPS／配当

(単位：円)

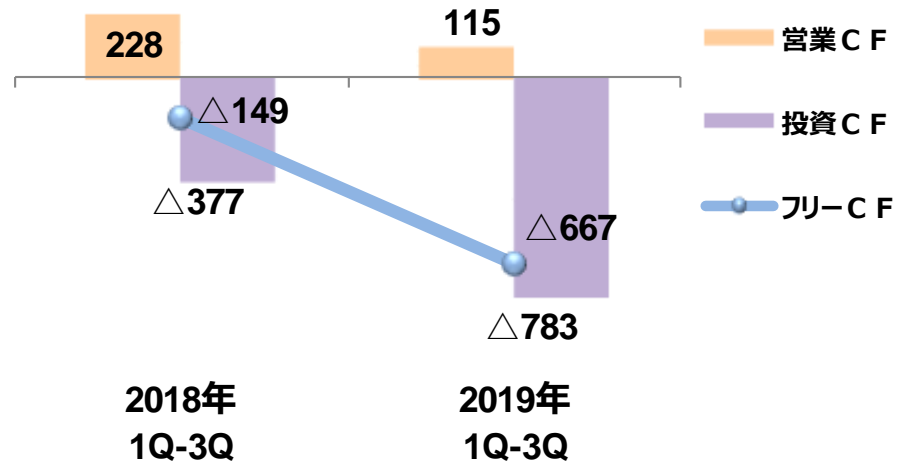
## ■ 財務指標推移



# 【参考】キャッシュ・フロー/設備投資・減価償却

(単位：億円)

## ■キャッシュ・フロー



## ■設備投資

	1Q-3Q 実績	4Q 計画	年間
2018年	77	30	107
2019年	153	83	236

## ■減価償却

	1Q-3Q 実績	4Q 計画	年間
2018年	100	33	133
2019年	92	33	125

**Canon**

キヤノンマーケティングジャパングループ